

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成18年10月(2006年)No.490

第46回OMC映像フェスティバル開催 下り坂お天気の下 まずは大盛会にて無事終了

第46回OMC映像フェスティバルは、去る10月1日(日曜日)13時より、大阪市立中央会館にて開催されました。あいにく朝から曇りがちで午後よりポツリポツリ雨が降り出すというお天気で、入場者数が心配されましたが、始まってみれば、会場ほぼ一杯の盛会にほっとしました。

今年はOMC始まって以来のハイビジョン作品が5本のほかワイドが6本登場する等、4対3の通常作品の8本を本数において上回っていて、時代の流れを実感しました。さすがにハイビジョンの画面は鮮明でした。作品内容も今年のはレベルが高く観客の皆さんに満足して頂いたのではないかと自負しております。全国レベルのコンテスト入賞作品上映会にも負けない映写会だったと思います。また来年を目指して頑張ってください。

■祝電を頂いた方々

1) 東京アマチュア映像連盟顧問・川上勝晤様 2) 新潟アマチュア映像協会会長・川辺明彦様 3) 東京映像会長・渡会 猛様 4) 京都映像サークル同様(長谷川将美様) 5) 神戸映像会員一同様(豊永雅資様) 6) 東京アマチュア映像連盟副会長・早川 潔様 7) 明石映像クラブ会長・猪飼行幸様 8) ビデオサークル紀南会長・森 裕治会員一同様 9) 映像銀の会さま 10) 銚子映像クラブ会長 石毛文男様

■御祝儀を頂いた方 守口市 萩巢 勲様

なお、祝電など頂戴した方々には早速お礼状を差し上げました。

11月12日(日曜日)は大阪アマチュア映像祭
どうぞお忘れなく、大阪市立中央図書館へお誘い合わせの上お出かけを

10月例会のお知らせ

10月例会は第4土曜日28日18時より大阪市立難波市民学習センターにて開催します。どうぞお集まり下さい。秋本番、行楽の秋、楽しい作品をお待ちしています。

12月例会は第3土曜16日

先月号で予告しましたように、12月の第4土曜は祭日で夜の貸室はありませんので、止むを得ず第3土曜日16日に変更しましたのでよろしくお願いいたします。

1月例会は21日(日曜)午後

1月例会は先月号予告しました通り、第3日曜日21日13時より開催します。例会終了後、総会となり、そのまま夜の新年会へ席を移します。会場は例会場上のスーパーライ難波に予約しております。

映像発表会ニュース

■神戸映像第47回発表映写会

- ・10月29日(日)13時会場13時30分上映
- ・兵庫県民会館9階ホールにて
- ・地下鉄県庁前、JR、阪神「元町」下車

■第6回京都アマチュア映像祭

- ・11月3日(祭日・金曜日)
- ・12時30分会場13時上映
- ・ひと・まち交流館(Tel 075-354-8711)
- ・阪急四条駅より河原町通り、市バス河原町正面下車又は京都五条駅下車

■第9回堺市民芸術祭参加・ビデオサークル堺、発表映写会

- ・11月4日(土)12時30分開場13時上映
- ・堺市民会館鐘小ホール
- ・南海電車高野線堺東駅下車徒歩12分
- ・OMC会員の森氏、河合氏、上総氏の作品も上映されます。ぜひご来場を。

■大阪アマチュア映像祭

- ・大阪市立中央図書館と大阪アマチュア映像連盟との共催
- ・11月12日(日)12時30分開場13時上映
- ・大阪市立中央図書館5階講堂
- ・地下鉄千日前線西長堀駅下車7号出口上
- ・OMC会員の関氏、宮崎さん、玉井氏、江村氏及び合原会長の作品等が上映されます。

9月例会レポート

明日は公開映写会の日という前夜の例会となりました。どうもお天気が下り坂で雨が心配です。映写会の後、慰労会があるので今夜の居酒屋組はお休みとなった様です。今月の司会は有村氏、書記は岡本氏、機械係、河合、増池、江村の3氏、受付は渡辺、奥の両氏の担当でした。

■出席者：有村、江村、奥、岡本、河合、上総、紙本、黒田、合原、鉄具、西井、西村、進藤、関、玉井、藤原、華岡、増池、前田、宮崎、森田、森、森下、安居、吉岡、渡辺の26氏。

■上映作品(今月の講評は岡本世話役です)

1. 思い出の山々

有村 博さん 4分23秒

山好きの作者が海外旅行で撮りためた映像の中から山ばかりを集めて編集されたもの。画面はスイスから、アイガー、メンヒ、ユングフラウ、そして太陽の光をあびるマッターホルンを映し出しています。変わってカナダへ、機上から残雪のキャッスル山からカナディアンロッキー、テンピークスの美しい山々、そしてネパールへ。アンナプルナ山脈、マチャプチャレから世界の最高峰エベレストの勇姿が映し出されます。最後は夕日に染まるニュージーランドのクック山でエンディングです。おそらく山好きの者にとってはたまらない映像でしょう。ただ、一般のものにとってはもう少し解説がほしかったような気がします。それにしても心癒される映像でした。

2. なかへち音頭

岡本至弘さん 5分15秒

私(筆者)の故郷(田辺市中辺路町)を歌った、なかへち音頭の歌詞に撮りためた映像をつけてみました。まだまだ映像が足りないので再編集する予定です。

3. 雪嶺(せつれい)に立つ(W)

河合源七郎さん 5分50秒

このタイトルからしておそらく見る者にとっては、冠雪の峰に立つ作者の勇姿が映るのではなかろうかと思った方もおられたと思います。この作品、中国西安からタクラマカンサバクを抜けてカシュガルの町へ。そしてカラコラムハイウェイを走って標高3600メートルのカラクリ湖を訪ねたものです。その湖の後には7000メートル級の高い峰々が映し出されています。作者の姿はありませんが、万年雪を冠った美しい山々を見せていただきました。終わった後、タイトルが合わないのではと言う意見ができました。これは、「見るのに立つ、離れたところに立つ」という意味ですと作者の弁。「あおぐとか、望む」等がよいので

はどの意見ができました。それにしても美しい映像を見せていただきました。

4. 極楽浄土の庭 (W)

増池 茂さん 6分30秒

大阪の四天王寺の境内にタイトルどおりの庭があるそうです。昨年の秋に撮られたものです。遠くへ行かなくても、街の中で秋の紅葉が見られるところがあるものだなあと思いました。真っ赤な紅葉などうまく撮影されていました。ところがBGMがあの有名なNHKのシルクロードの曲がながれます。あまり有名な曲は使わない方がいいとのアドバイスがありました。

5. 落城物語・岩村城 (W)

紙本 勝さん 9分00秒

この作者、いろいろなところに出掛けられてカメラをまわしてこられます。そしてきっちり作品にして例会にもってこられることに脱帽します。今回は岐阜県恵那郡岩村町にある「岩村城」を訪ねられた作品。岩村城は日本三代山城の一つであり、「女城主」悲哀の物語が残っています。この「岩村城」の歴史を丹念に調べられて作品にされました。文治元年(1185年)に築城されてから閉城(1871年)にいたるまでの歴史をくわしく述べられています。私は「女城主」がいたという史実をはじめて知りました。いろいろ勉強になりました。

6. イージス艦進水式 (W)

鉄具嘉夫さん 9分00秒

8月30日、三菱重工長崎造船所で行われた潜水艦「あしがら」の進水式の模様を撮影されたもの。この日は雨のため足元が悪くて三脚が使えなかったようですが、手持ちながらよくお撮りになられています。こんな近くで撮影できたものと思います。貴重な映像を見せていただきました。

7. 初秋の明日香路 (HDV)

奥 宏さん 5分14秒

この作者も、よく出掛けられて撮ってこられます。今回は奈良の明日香路です。9月20日に行かれたようですが、彼岸花が3分咲きのようで少し早かったかなと思います。でも秋の風情がよくでています。もう少し映像にストーリーをつければもっとよくなるのではないのでしょうか。

8. ありがとう余部鉄橋 (HDV)

前田茂夫 14分00秒

この作品は、OMCの今年の撮影会作品で最優秀賞に輝いた作品です。まだ見られてない会員さんがおられるので再上映となりました。明治45年に開通の余部鉄橋は、山陰本線最大の難工事でした。94年の風雪にさらされ、来春から立て替えが決まっています。その長年の貢献に感謝し作品にしましたと作者。鉄道好きの作者の哀愁のこもった作品に仕上がりました。立て替えの工事ははじまるまで、まだまだ追っかけ撮影をされているようです。すばらしい作品を期待しています。

9. おわら風の盆 (HDV)

西井 学さん 8分45秒

昨年の9月例会で1作目を発表されて、今回が2作目。前回もわたしが講評させていただきました。その時、町ながしに是非挑戦してくださいと書いておきましたら、今回は、7泊8日かけてハイビシンでの挑戦です。ソニーFX1とHC3の2台で撮影されました。作者の「風の盆」にかける意気込みが伝わってきます。編笠に浴衣姿で、三味線、胡弓に合わせての町ながしをうまくとらえています。解説がテロップでながされていますがここはナレーションで入れられた方がムードがでるような気がします。FX1でもやはり暗さによわいですね。でもよくお撮りになられました。

10. あまるペロマン号 (HDV)

江村一郎さん 6分45秒

この作品も、余部鉄橋の立て替え工事が始まる前に撮っておこうと、鉄橋をはしるロマン号を撮影されたもの。車内外などいろいろな角度から撮影されています。電車に乗ったり、降りたりご苦労されました。鉄道マニアにはむかないが、映像的にはよくできた作品との声がありました。

11. プルートと一緒に宇宙旅行 (HDV)

安居利次さん 5分00秒

この作者は、いろいろな創作映像で私たちを楽しませてくれます。このほど太陽系の惑星、冥王星が惑星から外されるというニュースがながれました。つまり冥王星(プルート)が発見されたのが76年前、作者のお年が76歳、同じ年齢のものが宇

宙旅行を楽しもうという創作映像です。水星から始まって冥王星までプルート（ディズニーのキラクター）と会話をしながら旅行して地球に帰還するという設定です。なかなか発想がおもしろい。プルトの口の動きがあったらなおよかったと思います。ちなみにプルトの声は娘さん。楽しい映像を拝見しました。

12. 港神戸でヤッチャレ (HDV)

森田光春さん 8分15秒

9月の中旬に神戸で行われたよさこいまつりを撮影されました。キャノンのHV10のテスト撮影だそうです。動きがはやいのでシャッター速度を1/500（スポーツタイプ）にしてとられたとか。きれいな映像でした。夕日にてらされた映像がきれいでした。なぜか頭のカットされた画かくがありました。

13. 八尾の流し節 (HDV)

進藤信男さん 8分40秒

八尾市の常光寺で、毎年8月地藏盆に歌い踊り継がれる、いわゆる正調河内音頭を撮影されたもの。流し調木遣音頭ともいわれ日本の音100選に選ばれているそうです。優雅な踊りに合わせ、くわしく調べられたナレーションをいれられています。この踊りはじめてみせていただきました。

初期のハイビジョンカメラ (前田)

アマチュア用ハイビジョンカメラが発表されたのは平成15年1月でした。当時はアマチュア用のハイビジョンカメラは当分登場しないだろうというのが、当時の大方の認識でした。従って平同年3月にVictorがハイビジョンカメラを発売したときは、玄光社を始め、多くのファンが驚いたものでした。価格も30万円台、編集もかなり敷居が高そうだということで、多くのファンが二の足を踏みました。実は私もカメラが高く買えそうにないな、と思っていました。ところが同年夏に玄光社より、ハイビジョンビデオのインターネット配信実験の依頼があり、いろいろ試行錯誤しながら取組んでいました。何本かテスト撮影した映像を初めて例会に持参しましたが、その鮮明さに恐らく会員さん全員が驚きの声を出されたものと記憶しています。この当時のカメラはVictorのGR-HD1というCCD単

板のカメラです。ダイキャスト製のかなり大きく重たいカメラです。2回ほど玄光社から借用しいろいろ撮影をしました。それらの映像は都度、例会にカメラ持込で上映しました。Victorの規格は720Pとって、1280×720ドットの映像を1秒間に30フレームずつ撮影すると言うプログレッシブ方式です。つまり1フレームの絵は、それだけで完全な絵になっています。当時720Pと1080iとの規格を、開発者のVictorと、SONY、CANON、SHARPの4者が協議して策定しました。1080i方式は、1440×1080ドットの映像をインターレース方式に分割して、1秒間に60フレーム記録するという方式です。つまりDVと全く同じ考え方でハイビジョン規格を作ったということです。DVは720×480ドット、所詮画素数は720×480=345600しかありません。

一方、720Pは1280×720=921600ドット、1080iは1440×1080=1555200ドットです。つまり720PはDVの2.66倍の密度があり、1080iはDVの4.5倍の密度が計算上あります。これでは誰が見てもハイビジョンが鮮明で優位であることが判ります。それでは1080iのドット数は720Pの1.69倍あると計算されますが、1.69倍細かいかということ、そう簡単に結論付けられないのです。720Pはプログレッシブですから1枚の絵はそれだけで完全な形です。しかし1080iはインターレースですから奇数のフレームと偶数のフレームが2枚となって1枚の絵を構成します。従って、720Pの映像と1080iの映像のきめ細かさは単純にドット数だけで決め付けると間違いです。720Pの映像と1080iの映像の精鋭さの違いは普通のプロジェクターでは判別できないでしょう。フルハイビジョン規格のTVでの視聴で判断する必要があるということです。しかし、SONYがHDVカメラを販売するようになってから、720Pは完全にマイナーになりハイビジョンは1080iが正道になってしまいました。これから販売されるHDVカメラで720Pの規格を採用するものは、ないであろうと思います。当初からHDVに係わった者としては、先駆者のVictorに新機種発売の元気がないのが気掛かりです。